

令和8年9月9日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

市民が創作した台本をもとにした舞台 吉川市演劇プロジェクト第8回公演『此处に吉川 2026』を上演しました

8月21日から23日、市民交流センターおあしす多目的ホールにおいて、吉川市演劇プロジェクト第8回公演『此处に吉川 2026』を上演しました。

市制施行30周年を記念した今回の演劇プロジェクトでは、「吉川の過去・現在・未来」をテーマに市民が創作した台本をもとにした公演を行いました。

演劇集団「^{やまとすぐる}範宙遊泳」の山本卓卓さんが構成・脚色・演出を担当し、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（彩の国さいたま芸術劇場）に舞台技術・制作協力をいただきました。市民等出演者23人・サポーター10人に加え、範宙遊泳の^{いがみさえ}井神沙恵さん・^{のもとさちろう}埜本幸良さんが出演。全公演予定していたチケットが完売し、多くの観客で賑わう中、終演後は会場が大きな拍手に包まれました。

公演後のアンケートでは、「年齢問わず色々な方が楽しく演じているのが印象的だった」「吉川の色々が詰まった楽しい演劇だった」「身近なテーマで自分のことと照らし合わせて考えたりできて心に残った」「通常は座席として使われる場所をステージとして使うなど、この場所ならではの空間を活かしていたのが素敵だった」などの感想をいただきました。

概要

期間 8月21日（金）～23日（日）（全3公演）

観覧者数 合計344人（プレビュー公演含む）



公演ポスター



ふくやまゆうせい
撮影：福山楡青



ふくやまゆうせい
撮影：福山楡青



ふくやまゆうせい
撮影：福山楡青

この件に関するお問合せ先

- お問合せ：教育部 生涯学習課 ☎048・984・3563

記事提供：政策室 広聴広報担当 ☎048・982・5112